

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-1-1 企業の競争力強化
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	産業振興課長 松浦 士登	電話番号	0852-22-5291
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	石州瓦産業経営基盤強化支援事業		
目的	(1) 対象	県西部（浜田市、大田市、江津市）に所在する石州瓦製造企業と、その企業により組織されている石州瓦工業組合	
	(2) 意図	石州瓦産業の自立的発展に向けて、業界が一体となった取組みを進め、各企業の経営基盤を強化する	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・石州瓦産業は、県西部において経済・雇用情勢に大きな影響を与える重要な地場産業 ・石州瓦産業に対する販売・生産・開発等の課題解決に向けた支援、住宅の新築・増改築・リフォーム時に石州瓦を屋根材として使用する施主に対する助成、産業技術Cによる技術支援等を実施 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県内で石州瓦を屋根材として使用する施主への助成件数	目標値		425.0	425.0	425.0	425.0	件
		取組目標値						
	式・定義 石州瓦利用促進事業の採択件数	実績値	440.0	383.0				
		達成率	-	90.2	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	42,662	52,000
うち一般財源 (千円)	42,662	52,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<p>【石州瓦出荷枚数】・全国：[平成27年度] 43,622千枚 → [平成28年度] 44,225千枚 [前年度比：101.4%] うち島根県：[平成27年度] 5,724千枚 → [平成28年度] 5,632千枚 [前年度比：98.4%] ・平成28年度の地域別出荷割合 中国46.5% 九州42.8% 近畿7.4% 四国2.3% その他0.9%</p> <p>【石州瓦利用促進事業の採択内訳】・新築・購入：[平成27年度] 440件 → [平成28年度] 330件 [前年度比：75.0%] ・増改築・リフォーム：[平成27年度] 0件 → [平成28年度] 53件 ・対象：[平成27年度] 住宅の新築・購入 → [平成28年度] 子育て世帯住宅・子育て施設の新築・購入・増改築・リフォーム</p>
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> ・石州瓦業界が平成29年度から3か年の取組指針となる中期計画を策定した。 ・石州瓦の平成28年度出荷枚数は前年度より603千枚増加（前年度比101.4%）した。 ・近年の住宅スタイルへの石州瓦採用を促進するため、西日本地域における新販路開拓等への支援を実施し、平板瓦の平成28年度出荷枚数は前年度より781千枚増加（前年度比120.1%）した。 ・壁瓦、敷瓦（タイル）、瓦食器など瓦以外の売上は伸びている。
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷枚数が最盛期（平成8年度）の約20%にまで減少している。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅着工件数は微増だが、住宅1戸あたりの屋根面積は減少傾向 ・軽量金属屋根材など他屋根材の攻勢と他産地との競争激化 ・瓦は地震に弱いという風評による瓦離れの傾向
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な出荷地域での競争力の強化 ・石州瓦の製造原価低減や市場ニーズに対応した新商品の生産拡大 ・瓦の他屋根材に対する優位性の立証や石州瓦の強みである耐凍害・耐塩害のPRによる石州瓦の魅力・性能の一般消費者への浸透 ・石州瓦産業の技術力や設備（高温焼成、廃熱等）を活用した新技術開発や新分野進出

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> ・石州瓦の主な出荷先である西日本、特に出荷枚数が多い県内・鳥取県・広島県・福岡県・熊本県を重点地域に指定し、出荷枚数の純増、新たな取引先の確保に向けた集中的な販売促進と、瓦屋根の優位性や安全・安心の訴求を含む石州瓦ブランドの浸透・強化に向けた支援を行う。 ・省エネ・長期優良化・耐震化等に対応した家づくり、屋根の軽量化、施工の省力化など市場ニーズを的確に把握し、そのニーズに対応した商品・サービスの開発や既存製品の改良等に向けた支援を行う。 ・生産技術の高度化や産地内での連携などによる製造原価の低減に向けた支援を行う。 ・高温焼成技術・設備を活用した新商品・サービスの開発、壁瓦・敷瓦や瓦食器の販路拡大、規格外瓦の用途拡大など瓦以外商品の売上増加に向けた支援を行う。 ・石州瓦産地の地元である県内における住宅新築・増改築等での石州瓦採用の拡大を図るため、利用促進に向けた支援を行う。
--